



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月2日

上場会社名 株式会社 東京精密

上場取引所 東

コード番号 7729 URL <https://www.accretech.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉田 均

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 CFO (氏名) 川村 浩一

TEL 042-642-1701

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	93,445	40.1	19,252	106.6	19,569	109.3	14,384	107.2
2021年3月期第3四半期	66,709	3.9	9,317	3.9	9,352	2.0	6,942	6.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 14,992百万円 (142.5%) 2021年3月期第3四半期 6,183百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	351.95	348.58
2021年3月期第3四半期	167.01	165.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	181,025	123,616	67.5
2021年3月期	161,556	116,777	71.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 122,105百万円 2021年3月期 115,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		42.00		62.00	104.00
2022年3月期		84.00			
2022年3月期(予想)				84.00	168.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	31.8	26,500	70.1	26,500	66.8	19,300	58.6	470.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	41,857,781 株	2021年3月期	41,759,981 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,222,891 株	2021年3月期	715,164 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	40,870,900 株	2021年3月期3Q	41,569,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料1「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き大きいものの、日米欧などでは経済活動の正常化に向けた取り組みにより回復傾向も見られました。一方、半導体や電子部品を中心とした部材の供給不足が続いているほか、一部物流の停滞などもあって、各種製品供給への影響は予断を許さない状況が続いています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、受注高は1,452億9百万円（前年同期比94.3%増）、売上高934億45百万円（前年同期比40.1%増）、営業利益192億52百万円（前年同期比106.6%増）、経常利益195億69百万円（前年同期比109.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は143億84百万円（前年同期比107.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下の通りです。

【半導体製造装置部門】

半導体製造装置部門では、サーバ・通信関連ロジックデバイス、メモリ半導体、パワー半導体、ディスプレイドライバIC向けおよびウェーハ増産向けなどを中心に製造装置需要が堅調に推移したこと、半導体デバイス国産化を推進する中国からの需要も引き続き高水準を維持したこと等により当第3四半期連結累計期間の受注高は既往ピークを更新しました。

こうした状況を受け、生産、出荷も高水準な状況が続きました。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は1,191億15百万円（前年同期比107.1%増）、売上高724億円（前年同期比49.2%増）、営業利益は166億29百万円（前年同期比102.6%増）となりました。

【計測機器部門】

計測機器部門では、当社の主要ユーザーである自動車業界向けの需要が緩やかな回復基調にあるほか、半導体製造装置等の機械・機械部品用途、ロボット用途などに向けた計測需要の回復傾向が見られました。こうした状況を受け、受注高・売上高はともに前年同期比で増加しました。

当部門における当第3四半期連結累計期間の受注高は260億94百万円（前年同期比51.7%増）、売上高210億45百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は26億23百万円（前年同期比136.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ194億69百万円増加し、1,810億25百万円となりました。増加の主な要因は、製品、原材料、仕掛品などの棚卸資産の増加82億34百万円、有形固定資産の増加68億5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権の増加23億93百万円、現金及び預金の増加16億93百万円等です。

当第3四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べ126億30百万円増加し、574億9百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加90億17百万円、長期借入金の減少20億円、未払法人税等の減少17億93百万円等です。

当第3四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べ68億38百万円増加し、1,236億16百万円となりました。この結果、自己資本比率は、67.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、前回発表時(2021年11月2日)の見通しを変えておりません。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,657	45,350
受取手形、売掛金及び契約資産	27,304	26,337
電子記録債権	3,642	7,003
商品及び製品	2,657	3,075
仕掛品	22,028	27,246
原材料及び貯蔵品	8,200	10,799
その他	4,076	5,061
貸倒引当金	△ 50	△ 45
流動資産合計	111,516	124,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,082	16,651
その他（純額）	19,562	26,798
有形固定資産合計	36,645	43,450
無形固定資産		
のれん	220	211
その他	3,769	3,463
無形固定資産合計	3,989	3,674
投資その他の資産		
その他	9,517	9,185
貸倒引当金	△ 112	△ 112
投資その他の資産合計	9,405	9,072
固定資産合計	50,039	56,198
資産合計	161,556	181,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,379	12,002
電子記録債務	13,682	20,077
短期借入金	1,300	1,300
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	3,935	2,141
賞与引当金	1,381	784
役員賞与引当金	2	2
その他	7,614	15,646
流動負債合計	39,296	53,955
固定負債		
長期借入金	4,000	2,000
役員退職慰労引当金	47	42
退職給付に係る負債	1,059	1,060
資産除去債務	64	64
その他	310	286
固定負債合計	5,482	3,454
負債合計	44,778	57,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,818	10,976
資本剰余金	21,918	22,091
利益剰余金	83,874	92,180
自己株式	△ 3,124	△ 5,590
株主資本合計	113,487	119,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476	390
為替換算調整勘定	220	993
退職給付に係る調整累計額	1,184	1,063
その他の包括利益累計額合計	1,881	2,447
新株予約権	892	952
非支配株主持分	516	559
純資産合計	116,777	123,616
負債純資産合計	161,556	181,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	66,709	93,445
売上原価	41,801	56,586
売上総利益	24,908	36,859
販売費及び一般管理費	15,591	17,606
営業利益	9,317	19,252
営業外収益		
受取利息	14	28
受取配当金	66	136
補助金収入	116	24
建物解体費用戻入額	-	44
その他	128	143
営業外収益合計	325	377
営業外費用		
支払利息	55	39
為替差損	106	-
貸倒引当金繰入額	112	-
その他	16	21
営業外費用合計	291	60
経常利益	9,352	19,569
特別利益		
新株予約権戻入益	6	3
投資有価証券売却益	133	-
関係会社清算益	-	9
その他	16	-
特別利益合計	156	13
特別損失		
割増退職金	108	-
建物解体費用	292	-
その他	1	-
特別損失合計	402	-
税金等調整前四半期純利益	9,105	19,582
法人税、住民税及び事業税	2,824	4,774
法人税等調整額	△ 651	372
法人税等合計	2,172	5,147
四半期純利益	6,933	14,434
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 9	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,942	14,384

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	6,933	14,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	△ 86
為替換算調整勘定	△ 777	764
退職給付に係る調整額	△ 119	△ 120
その他の包括利益合計	△ 749	557
四半期包括利益	6,183	14,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,207	14,950
非支配株主に係る四半期包括利益	△ 23	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、2021年8月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式515,600株の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取により、当第3 四半期連結累計期間において自己株式が2,501百万円増加いたしました。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2021年9月17日をもって終了しております。

(2) 自己株式の処分

当社は、2021年7月7日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式8,240株を処分いたしました。この処分により、当第3 四半期連結累計期間において、自己株式が36百万円減少いたしました。

この結果、当第3 四半期連結会計期間末において自己株式は5,590百万円となりました。

(会計方針の変更)

1. 「収益認識に関する会計基準」等について

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日、以下「収益認識会計基準」)等を第1 四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) ワランティサービス

製品の販売においては、顧客との契約に基づき、一定期間のワランティサービスが含まれている場合があります。従来は、サービスについて収益を認識しておりませんでした。製品の引き渡しに係る履行義務と、当該サービスに係る履行義務を識別し、それぞれの履行義務を充足した時点で収益を認識する方法に変更しております。

(2) 有償サービス

当社グループは、一部を除き、販売製品に対する有償サービスを提供しております。この有償サービスのうち、一定期間の製品保守の履行義務を負う、いわゆる保守契約について、従来は当該契約が開始した時点で収益を認識しておりましたが、保守契約期間に応じて均等按分し、収益を認識する方法に変更しております。

(3) 売上りべート

売上りべート等の顧客に支払われる対価については、従来、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1 四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1 四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1 四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

これらの結果、収益認識会計基準等の適用前と比べ、当第3四半期連結累計期間の売上高が105百万円減少、販売費及び一般管理費が63百万円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ42百万円減少しております。また利益剰余金の当期首残高は122百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

2. 「時価の算定に関する会計基準」について

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	半導体製造装置	計測機器	
売上高			
外部顧客への売上高	48,513	18,196	66,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	48,513	18,196	66,709
セグメント利益	8,207	1,110	9,317

（注）セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	半導体製造装置	計測機器	
売上高			
外部顧客への売上高	72,400	21,045	93,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	72,400	21,045	93,445
セグメント利益	16,629	2,623	19,252

（注）セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。